

カンショ「べにまさり」のA品率向上のための土壌化学性指標値

茨城県農業総合センター農業研究所

カンショ「べにまさり」の丸いも、萌芽いもの発生には、作付前の土壌pH、可給態リン酸、交換性カリ、交換性石灰、炭素率(C/N比)が関係します。A品率70%以上の「べにまさり」が栽培できる土壌化学性指標値を明らかにしました。

A品率と丸いも率、萌芽いも率の関係

「べにまさり」は、丸いもや萌芽いもの発生率を下げることでA品率を高めることができます。丸いも、萌芽いもの発生には、作付前の土壌化学性が関係します。

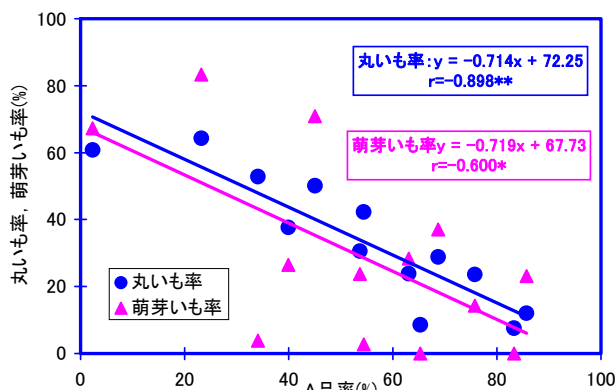


図 A品率と丸いも率、萌芽いも率の関係

A品率向上のための土壌化学性指標値

項目	分析値
pH(KCl)	5.2 ~ 5.4
可給態リン酸 (mg/100g)	10 ~ 26
交換性カリ (mg/100g)	37 ~ 50
交換性石灰 (mg/100g)	240 ~ 380
炭素率 (C/N比)	10.5 ~ 10.9

作付け前の土壌化学性と丸いも、萌芽いも発生の関係から、A品率向上のための指標は、作付前の土壌pH、可給態リン酸、交換性カリ、交換性石灰、炭素率(C/N比)です。

左の表の指標値に適合させることにより、A品率が70~85%の「べにまさり」が栽培できます。

土壌化学性指標値の適合性

現地圃場で土壌化学性の指標値を検討した結果、適合する項目が多いと、丸いもおよび萌芽いもの発生が少なく、A品率が高くなります。このため、「べにまさり」の栽培にあたっては、土壌診断と土壌化学性の指標値を参考に作付圃場を選定し、改善することがポイントになります。



圃場Aの「べにまさり」

圃場Fの「べにまさり」

指標値適合項目数と外観品質の関係

圃場	指標値適合項目数	A品率 (%)	丸いも率 (%)	萌芽いも率 (%)
A	4	65	9	0
B	3	34	38	4
C	2	54	31	24
D	1	54	42	3
E	0	30	53	27
F	0	2	61	67